

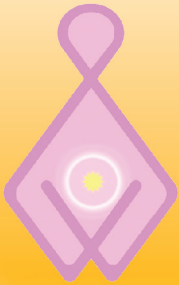


2014～2015年度のRIテーマ
「ロータリーに輝きを」(Light Up Rotary)
R.I会長/ゲイリーC.K.ホァン

2014～2015年度 第2740地区スローガン
『地域に輝くロータリー』
ガバナー 宮崎清彰



2014～2015年度
諫早西ロータリークラブ標語



『心の火を燃やそう』

第1414例会 2014年11月26日例会記録 NO.19 天候 曇り

【本日】会員数 39名 出席 32名 欠席 6名 休会1名 出席率 84.21% ビジター 2名
【前々回】会員数 39名 出席 36名 欠席 3名 MC 3名 出席率 92.10%

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

会長/辻本善樹 幹事/木村暢義 創立日/昭和60年2月20日 認証日/昭和60年3月5日
例会場/平安閣 諫早サンプリエール(毎週水曜日) 〒854-0053 諫早市小川町71-1 TEL(0957)24-3907
事務局/諫早商工会議所内 〒854-0016 諫早市高城町5番10号 TEL(0957)22-3323
会報委員/山本健志・中村正美・宇土久・千住良治・原田典範

HP/<http://isahaya-west.com> E-mail/info@isahaya-west.com

会長の時間

「理想の医者 8カ条」

11月18日(火)の朝日新聞に「医者めざす弟へ兄からの8カ条」という記事があったので紹介する。

長野県箕輪町の中学1年の山田倫太郎君(13)は、左心室と右心室が分かれていない「フォンタン術後症候群」という14000人に1人の難病で、手術を重ねたが、今も腸からタンパクが漏れる合併症で点滴が欠かせない状態です。免疫力が落ちているため運動や過労は禁物だが、学校には酸素吸入器を付けて通いつけている。

今年初め、4歳の弟の恵次郎君が人体図鑑を眺めて「お兄ちゃんを治したい」と言い始めた。それを聞いた倫太郎君は7月、弟を励まそうと、倫太郎君が思う理想の医者像をパソコンで一気に書き上げた。

良い医者的心得の8カ条は次のようなものです。

1. 患者さんの家族、趣味など、患者さんの生活全体を見て接しよう。
2. 患者さんは、誰もが自分の受ける治療や検査などに、不安を抱えている。しっかり、分かりやすく説明してあげよう。
3. 患者さんは、いつ苦しみだすかわからない。大事なのは、その時に、君が患者さんのために、とっさに体が動かせるかだ。
4. 入院している患者さんにも、自分の生活がある。検査や治療は出来る限り患者さんの生活に合わせてやるべきだ。
5. 入院している患者にとって、ベッドは我が家のようなものだ。採血や問診に行く時は、人の家に行くような感じで行こう。
6. 患者や、患者の家族は、手術や検査の結果を心待ちしている。終わったらすぐに知らせてあげよう。
7. 患者さんとの関係は、治療が終わればおしまいという訳ではない。
8. 医師はどんな状況でも諦めてはならない。思わぬ治療法があるかもしれないからだ。医師が絶望的と思っても、患者や家族にとっては違うかもしれない。

「これらの文章には、生きることへの感謝と真摯な姿勢があふれている。かみしめて読んでほしい」と長野県立こども病院循環器センター長は述べている。

我々小児科医も上から目線ではなく、一人の大人として認めて、納得するような説明をして、理解させて治療に当たらなければならないと感じた。

幹事報告

【例会時間変更】

※諫早ロータリークラブ

①日時：平成26年12月19日(金) 18:30～

場所：水月楼

※忘年例会のため

②日時：平成27年1月16日(金) 16:00～

場所：グランドパレス諫早

※創立55周年記念祝賀会のため

【例会場所変更】

※諫早多良見ロータリークラブ

日時：平成26年12月16日(火) 12:30～

場所：コカコーラウエスト(株)諫早リジョン

※100万\$例会のため

【例会休会】

※諫早ロータリークラブ

日時：平成26年12月26日(金)

平成27年1月2日(金)

※定款第6条第1節により

※諫早多良見ロータリークラブ

日時：平成26年12月23日(火)

平成26年12月30日(火)

※定款第6条第1節により

【お知らせ】

※国際ロータリー日本事務局より

12月ロータリーレート 1ドル=112円

※ガバナー事務所より

「地区大会」の御礼

委員会報告・その他

●諫早ロータリークラブ

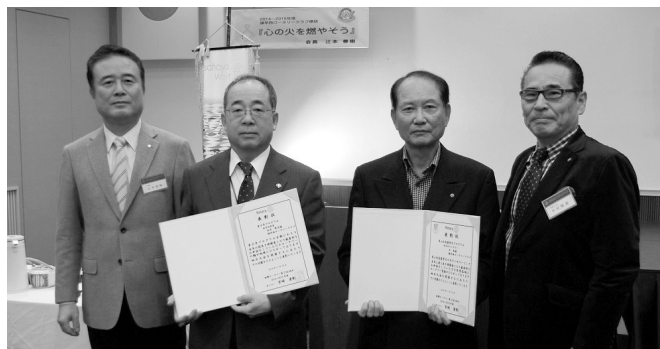
55周年記念講演会のご案内

諫早RC会長 村川一人君

諫早RC幹事 井手雅康君

●表彰

- ・米山記念奨学生プログラム 永年カウンセラー 平 武君
- ・青少年プログラム 永年功労者 永井 栄次君



スマイルボックス



辻本 善樹君：先週はパスト会長会、30周年記念委員会

そして指名委員会と御出席いただきありがとうございます。また、村川会長、井手幹事御来訪ありがとうございます。

- 木村 暢義君：諫早クラブ会長、幹事、ようこそいらっしゃいました。今後ともよろしくお願ひします。
- 立野 守君：愛妻をなくして23年。来年が25回忌です。29日が命日ですが美しい花束をいただき誠に有難うございます。妻も大変喜ぶことでしょう。
- 平 武君：皆勤賞をもらって以来はじめての表彰です。どうもありがとうございます。
- 永井 栄次君：本日は青少年プログラム永年功労の表彰ありがとうございます。大変光栄に存じます。これを機にこれからも頑張ります。
- 荒木 公義君：結婚式で皆様方に祝って頂きました。次男(亮次)に長男(咲磨)が11月19日生まれました。母子とも元気で良かったです。
- 吉次 良治君：諫早RC第55代村川会長、井手幹事ようこそいらっしゃいました。2人の歓迎にニコニコ
- 早田 和彦君：平ちゃん永井ちゃん受賞おめでとうございます。
- 原田 典範君：平会員、永井会員おめでとうございます。
- 栗林 英雄君：諫早西クラブ主催の留学生と市民の集いでは長崎ウエスレヤン大学、総合科学大学の留学生を多数お招き頂きスピーチコンテスト等有意義な交流をして頂きました。留学生は大変喜んでおりました。鎮西学院理事長として厚く御礼申します。出来ますれば今後共この様な企画をして頂きますれば幸いです。誠にありがとうございました。
- 村川 一人君(諫早RC会長)：今日はお世話になります。諫早ロータリー55周年になります。よろしくお願ひします。
- 井手 雅康君(諫早RC幹事)：諫早RC55周年、加藤清隆氏の講演会に是非おいで下さい。よろしくお願ひします。

本日の合計(11/26)	累計額
¥43,000	¥682,540

クラブフォーラム

国際交流事業報告

国際奉仕委員会 吉田委員長

『留学生の集い』・『ダーピースクールとの交流会』

今月は二つの事業を、皆様の協力のもと成し遂げることが出来ました。



一つ目は、永井会員の企画で昨年からはじめました留学生との交流会。今年度は規模を大きくし、長崎ウエスレヤン大学と長崎総合科学大学に案内を掛けさせていただきました。ウエスレヤン大学からは、フィリピン・タイ・中国・台湾等16名、総科大学からは、ベトナム・韓国等8名の参加でした。

会員で準備を整えてくれた県立千々石少年自然の家で留学生を迎え、会長による開会挨拶で始まり、自己紹介後、茶道の体験をしてもらいました。先生は、辻本会長夫人とお仲間の4名による解説・体験を致しました。日本の四季を表現した茶のいただき方に、会員も含め良い体験をさせていただきました。

その後、日本語スピーチコンテストに入り、ウエスレヤンから5名、総科大から2名の発表をしてもらいました。テーマは「日本を留学先に選んだ理由・日本の感想・将来の夢」でしたが、上手に話され、語学力・表現力・文章力、皆立派な発表でした。入学して半年ぐらいの留学生の志、語学の成長を目にしました。

夕食は皆が楽しみにしているバーベキュー。小雨の為、キャンプファイアーは断念しましたが、カラオケ大会で最高に盛り上がりました。

2日目は島原半島歴史探索で、最初雲仙に向かいましたが、車中では全員寝姿です。聞きましたところ、昨夜は12時消灯を指示していましたが、寝たのは明け方4時ごろで、全員で話し込んでいたとのことでした。これも青春、若者には交流も深まり良き思い出だったと想像します。話は戻りますが、探索は地獄めぐり・普賢岳災害記念館・島原城と見学し、日本の伝統文化や歴史を学習してもらいました。

その後、無事大学まで送ることができ、留学生達の喜びを感じました。留学生には、日本のことをより理解し、将来両国の架け橋と成って欲しいと伝え別れました。

2つ目は、11月12日に開催した「佐世保ダーピースクールの生徒と長田小学校の生徒による国際交流会」。お迎えの時は緊張していた子供たちも、ぐにゃぐにゃ風の製作・風上げですっかりなごんでいました。給食の肉じゃがも、おいしく食べていました。

終わってみて、校長先生から英語の授業取り入れにあたり語学への興味を持つ良い機会でした。是非、次年度もお願いしたいとのご要望の言葉を頂きました。

二つの事業を通して、出会いで感動し、国際的視野を広げた青年・子供たちはこの体験でより成長してくれると願っています。